

日本組織培養学会



会員通信

第141号

平成 31 年 1 月 7 日

発行者

* 森 一憲 (昭和大学)

* 責任者連絡先

〒142-8555

品川区旗の台1-5-8

昭和大学 薬学部 基礎薬学講座

腫瘍細胞生物学部門

TEL: 03-3784-8209

E-mail: mori@pharm.showa-u.ac.jp

目次

1. 年頭のご挨拶	2
2. 日本組織培養学会 第 92 回大会 (2019 年) のお知らせ	3
3. 第 92 回大会 奨励賞申請と発表について	9
4. 第 92 回大会 English Presentation Award (EPA) 応募案内	12
5. 委員会報告	13
1) 細胞培養基盤教育委員会報告	
2) 情報企画委員会報告	
3) 編集委員会報告	
4) テクニカルアーカイブ委員会報告	
6. 会員登録住所更新のお願い	15

1. 年頭のご挨拶

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

昨年のノーベル医学生理学賞の受賞者は、テキサス州立大学 MD Anderson がんセンターの James P. Allison 博士と、京都大学特別教授の本庶佑先生でした。本庶先生らが発見された PD-1 はがん細胞の免疫抑制に関与し、これをターゲットとした抗体医薬が新規ながん治療薬として大きな期待を集めるようになりました。2018年10月に国立医薬品食品衛生研究所生物薬品部により作成された一覧表によれば、オプジーボ(ニボルマブ)は遺伝子組換え技術により CHO 細胞で生産されているようです。一方再生医療分野では iPS 細胞による細胞治療の臨床研究が続々と認可され、10月には京都大学医学部附属病院で iPS 細胞由来のドパミン神経前駆細胞の移植が実施されました。今後も iPS 細胞由来の血小板の自己輸血や iPS 細胞由来心筋細胞シート移植による重症虚血性心筋症治療、iPS 細胞由来神経前駆細胞を用いた亜急性期の脊髄損傷治療等が順次実施されるものと思います。これらの培養細胞を用いた画期的な医学技術の開発が進むなか、細胞培養技術はより重要なものと社会に認知されてきております。

現在の執行部の任期は間もなく折り返し地点に到達しようとしておりますが、これまでの活動では必ずしもこの良好な環境を生かし切れていない部分も多々あるかと思ます。次年度の大会は第92回となりますが、あと9年弱で第100回大会を迎えます。昨今のように培養技術の重要性が一般社会人にも認知されるようになった良好な環境で、本学会の伝統と今日まで続けてきた進歩を次世代につなぐためには、学会自体の運営体制についても種々の改善が必要ではないかと思料しております。次年度末には次の学会長ならびに役員選挙が実施される予定ですが、次期執行部に対してより効率的で学術的価値の高い学会としてバトンタッチするためには、本年の活動が大変重要で、会員の皆様にはぜひ次回の大会に積極的にご参加いただき、総会の場において忌憚なきご意見やご提案をいただければと思ます。

本年の大会は、日本歯科大学の筒井健夫先生のご尽力により、東京千代田区の東京キャンパスで開催されます。既に多くの講演やシンポジウムが企画され、昨年同様動物実験代替法学会との共催シンポジウムも催されます。詳細は本会員通信でご案内があるかと思ますが、その他従来の大会にはない画期的な企画も催される予定になっておりますので、会員の皆様におかれましては、ぜひ奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

最後になりますが、今年一年本学会会員の皆様のご壮健で、研究がますます発展されることを祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

会長 浅香 勲

2. 日本組織培養学会 第 92 回大会 (2019 年) のお知らせ

ご挨拶

日本組織培養学会第 92 回大会の大会長を務めさせていただきます、日本歯科大学の筒井健夫と申します。本大会は、2019 年 7 月 6 日(土)と 7 日(日)の 2 日間、日本歯科大学生命歯学部にて開催させていただきます。

日本組織培養学会は 1956 年 9 月 30 日に第 1 回が「組織培養研究会」として発足、開催され、今回は 92 回目の大会となりますが、1981 年 10 月に第 52 回大会を日本歯科大学が開催いたしております。本大会を 40 回の時を経て、再び日本歯科大学が開催させていただけることは、幸甚の至りに存じます。この間、生命科学の進歩は著しく、またグローバル化に伴い組織培養技術に対してさらに様々な必要性が顕在化しております。日本組織培養学会は、これまでに受講生が 500 人を超える細胞培養講習会を行い、技術的諸問題の解決に努めており、学会認定「細胞培養士」の養成を通して細胞培養技術の標準化を推進しております。

我々は、細胞の生命体における活動を、それぞれの切り口から解明し応用しようとしております。本大会のテーマ「探究心 ～細胞に誘われる未来～」は、これまで、そして現在、未来へと細胞に誘われ、生命現象の本質を解き明かす心構えから決めました。本大会では、特別講演、公開講演、最新の生命科学に関するシンポジウムテーマを「iPS 細胞基礎・臨床研究における新展開」、「量子技術を応用した新たな生命科学の展望」、「培養細胞の臨床応用に向けての活用」として 3 テーマ、日本動物実験代替法学会合同シンポジウム、また日本の生命科学の次世代の担い手となる、大学院生を対象とした学会入会の有無を問わない Graduate Students Sessionなどを企画しております。さらに、第 92 回大会では、枠組みを超えた新たな企画が必要であると考えました。世代を超えて国民へ生命科学の興味深さを伝えるため、参加自由の公開講演は、口腔から全身への生命歯科学の奥深さへ誘う内容です。また、体験型サイエンスユニットでは、小・中学生を対象に生命科学への探究心を鼓舞するような「わくわくデンタルラボ ～歯科材料で遊んでみよう～」と「みるみるサイエンス ～身近なものと歯と細胞を観察してみよう～」を企画しております。広く一般の方々へ医療・健康・ライフサイエンスとは身近であることを実感する機会を提供するため、ライフサイエンスポスターコンテストを行います。この企画は、それぞれの世代の医療・健康・ライフサイエンス像について、世代を超えた考えを本大会で共有することが、これからの日本社会の礎の一つとなると考えたためです。

第 92 回大会では、企業ブース展示へ学会参加者以外の一般の方の入場を企画し、ご支援くださる企業の方々にも多くの交流を提供できればと考えております。日本の生命科学力の向上を目指し、年齢を問わず一般の方、学会会員の方、企業の方、それぞれ皆さまの熱意が本大

会でご縁を深め、「新たな知見、新たな交流、新たなインスピレーション」を実感していただけるような意義深い大会になればと考えております。実行委員会は、発表と活発な議論をお楽しみいただけるような大会を目指し準備しております。皆さまのご参加をこころよりお待ち申し上げます。

大会概要

大会長：筒井 健夫(日本歯科大学生命歯学部薬理学講座)

テーマ：探究心 ～細胞に誘われる未来～

期 日：2019年7月6日(土)-7日(日)

会 場：日本歯科大学生命歯学部

九段ホール(講演会場)

メモリアルホール

ホールオアシス

共同利用研究センター (1),(2)

日本組織培養学会第92回大会 大会長

日本歯科大学生命歯学部 薬理学講座

教授 筒井 健夫

日本組織培養学会第92回大会 大会実行委員会

実行委員長

筒井健夫

実行委員

浅香 勲	飯塚 望	石川祥一	石川葉仁	井出吉昭	稲葉智弘
今井久美子	岩崎直弥	折笠博之	笠島生也	片岡 健	片柳亮太
金井友起子	河上智美	熊倉伸一	熊田光利	小林朋子	小林輝生
肖 黎	富永徳子	鳥居大祐	中島慎太郎	中原 貴	那須優則
樋口竜也	深田哲也	福田真也	藤井万紀子	星熊美樹	堀江哲郎
本田 健	松井美紀子	三橋扶佐子	三橋昭子	望月真衣	森 一憲
森永聡和	八木英一	山崎良美			(五十音順)

協力者

小原有弘	西條 薫	嶋本 顕	須藤和寛	中村和昭	林 洋平
松木 亨	三村純代	山崎泰助			(五十音順)

予定プログラム

1) 特別講演

(1) 特別講演 1

齊藤 博英 先生 (京都大学 iPS 細胞研究所 未来生命科学開拓部門
細胞制御システム工学分野 教授)

(2) 特別講演 2

工藤 佳久 先生 (東京薬科大学 名誉教授)

2) 公開講演

中原 貴 先生 (日本歯科大学 副学長 生命歯学部発生・再生医科学講座 教授)

3) シンポジウム

(1) シンポジウム I 「iPS 細胞基礎・臨床研究における新展開」

金村 米博 先生 (独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 臨床研究センター
先進医療研究開発部 部長)

池谷 真 先生 (京都大学 iPS 細胞研究所 臨床応用研究部門 准教授)

(2) シンポジウム II 「量子技術を応用した新たな生命科学の展望」

田口 光正 先生 (国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
量子ビーム科学研究部門 上席研究員)

五十嵐 龍治 先生 (国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
QST 未来ラボ・量子細胞システム研究グループ 主任研究員)

(3) シンポジウム III 「培養細胞の臨床応用に向けての活用」

関戸 好孝 先生 (愛知県がんセンター研究所 副所長 兼 分子腫瘍学分野・
分野長(兼)名古屋大学大学院医学系研究科 細胞工学講座
連携教授)

坂本 直也 先生 (広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 分子病理学 助教)

(4) 日本動物実験代替法学会合同シンポジウム

松下 琢 先生 (崇城大学 副学長 生物生命学部応用生命科学科 教授)

斎藤 幸一 先生 (住友化学株式会社 先端材料開発研究所
ライフサイエンスチーム チームリーダー)

亀井 謙一郎 先生 (京都大学 高等研究院 物質—細胞統合システム拠点
准教授)

竹澤 俊明 先生 (国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
生物機能利用研究部門 主席研究員)

4) 奨励賞対象演題

5) English Presentation Award

6) 細胞培養基盤教育委員会主催講習会

日本組織培養学会 細胞培養基盤教育委員会

委員長 片岡 健 (岡山理科大学 理学部 臨床生命科学科 教授)

7) Graduate Students Session

8) 一般演題

9) ポスター発表

10) 総会

11) ランチョンセミナー

12) ライフサイエンスポスターコンテストの表彰

日 時: 2019年7月6日(土)13:00—13:30

対 象: 3歳以上から小学3年生以下

小学4年生から6年生

中学生

高校生以上

会 場: メモリアルホール(日本歯科大学生命歯学部本館)

13) 体験型サイエンスユニット

(1) わくわくデンタルラボ ～歯科材料で遊んでみよう～

日 時: 2019年7月6日(土) 13:40—14:25、14:40—15:25、15:40—16:25

2019年7月7日(日) 14:50—15:35、15:50—16:35

対 象: 小学生(4年生以上)

中学生

会 場: ホールオアシス (日本歯科大学生命歯学部 100周年記念館)

(2) みるみるサイエンス～身近なものと歯と細胞を観察してみよう～

日 時: 2019年7月6日(土) 13:40—14:20、14:35—15:15、15:30—16:10

2019年7月7日(日) 14:50—15:30、15:45—16:25

対 象: 小学生(4年生以上)

中学生

会 場: 共同利用研究センター (1), (2)(日本歯科大学生命歯学部

100周年記念館)

懇親会 日 時: 2019年7月6日(土) 18:15より(予定)

会 場: 日本歯科大学生命歯学部 本館 8階 展示ホール

幹事会 日 時: 2019年7月5日(金)(午後 時間未定)

会 場: 日本歯科大学生命歯学部 本館 7階 171講堂

一般演題・奨励賞対象演題の募集

一般演題登録は、まず大会ホームページの「演題登録」Web ページより指定様式の抄録テンプレート(Word ファイル)をダウンロードして演題、発表者氏名、所属、抄録本文などを入力してください。次に、指定様式の抄録 Word ファイルを添付してメール送信してください。詳細は大会ホームページをご確認ください。なお、奨励賞対象演題に応募される方は、指定の申請書類を2019年2月15日(金)までに電子メールにて提出してください。詳細は、後述の「3. 第92回大会 奨励賞申請と発表について (p. 9)」、または大会ホームページにてご確認ください。

一般演題登録期限 : 2019年4月10日(水) 締切厳守

大会ホームページ <http://jtca.umin.jp/meet/y2019/index.html>

Graduate Students Session の募集

Graduate Students Session の演題登録は大会ホームページの「演題登録」Web ページより指定様式の抄録テンプレート(Word ファイル)をダウンロードして演題、発表者氏名、所属、抄録本文などを入力してください。次に、指定様式の抄録 Word ファイルを添付してメール送信してください。Graduate Students Session の演者は大学院生(社会人大学院生も含めます)に限りませんが、共著者はその限りではございません。Graduate Students Session の演題登録に際し、発表される演者を含め共著者についても学会入会の有無を問いません。詳細は大会ホームページをご確認ください。Graduate Students Session の発表時間は7分、質疑応答は3分です。また、日本組織培養学会第92回大会 Graduate Students Session Award を授与致します。

一般演題登録期限 : 2019年4月10日(水) 締切厳守

大会ホームページ <http://jtca.umin.jp/meet/y2019/index.html>

利益相反情報の申告・開示

日本組織培養学会利益相反内規に基づき、日本組織培養学会第92回大会で発表される方には、発表演題に関する利益相反の開示をお願い致します(過去1年間)。発表者は利益相反の有無に関わらず、発表時に利益相反状態を開示してください。本学会利益相反内規については、学会HPよりご確認ください。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

利益相反内規 http://www.jtca.net/jtca/wp-content/uploads/2014/05/jtca_coi.pdf

参加費・登録方法

	会員種別	大会参加費	懇親会参加費
事前登録	一般会員※	6,000 円	4,000 円
	学生会員※	3,000 円	3,000 円
	非 会 員	8,000 円	5,000 円
	学生非会員	4,000 円	4,000 円
当日登録	一般会員※	7,000 円	5,000 円
	学生会員※	4,000 円	5,000 円
	非 会 員	10,000 円	6,000 円
	学生非会員	5,000 円	5,000 円
	名 誉 会 員	無 料	

※一般会員および学生会員には、日本動物実験代替法学会会員および同学会学生会員が含まれます。

事前登録は、2019 年 5 月 20 日(月)までです。まず、以下の口座に参加費および懇親会費をお振込みいただき、大会ホームページの「参加登録」Web ページ (現在準備中) で必要事項を入力の上、送信してください。なお、お振込みの際に振込人の氏名をご確認ください。参加登録ページが準備できましたら、ご案内いたします。

金融機関：三菱 UFJ 銀行

【店名】神楽坂 (カグラザカ) 支店 (店番 052)

【預金種目】普通預金

【口座番号】0518829

【名称】日本組織培養学会第 92 回大会筒井健夫

(ニホンソシキバイヨウガツカイダイキユウジュウニカイタイカイツツイタケオ)

当日登録の方は、学会当日、受付にて参加費および懇親会費を現金にてお支払いください。クレジットカード等でのお支払いはご遠慮ください。領収証は、学会参加費および懇親会費を各々で発行いたします。

大会事務局

日本歯科大学生命歯学部 薬理学講座

〒102-8159 東京都千代田区富士見 1-9-20

E-mail: jtca92@tky.ndu.ac.jp

3. 第 92 回大会 奨励賞申請と発表について

教育・奨励賞担当幹事 筒井 健夫・中村 和昭

第 92 回大会奨励賞申請についてご案内いたします。日本組織培養学会奨励賞は 40 歳以下の若手研究者を対象としており、将来性ある若手研究者の研究を奨励し、本学会の活性化を図ることを目的としております。若手研究者の皆さまにはその受賞を目指して、第 92 回大会でも多数の奨励賞演題の応募を期待しています。

1. 申請資格

- ・申請時に日本組織培養学会の会員であること。
- ・2019 年 4 月 1 日現在で 40 歳以下であること。
- ・今大会にて発表する奨励賞応募演題の筆頭発表者であること。
- ・日本組織培養学会 奨励賞を未受賞であること。

2. 応募方法

申請用紙を本学会ホームページよりダウンロードしてご記入ください。申請書類には、本学会評議員の推薦状が含まれます。推薦者の捺印や直筆サインは不要ですが、必ず推薦者の承諾を得てください。申請書類を電子メール添付にて「6.問い合わせおよび申請書送付先」宛てに送付してください。書面審査の上、奨励賞演題の登録可否を通知いたします。奨励賞演題の登録が認められた場合、大会ホームページから演題抄録の登録を行っていただきます。奨励賞演題の登録可否の通知は 3 月中旬までを目途に行います。

申請用紙ダウンロード URL: http://jtca.umin.jp/shourei/YIA-ApplicationForm_2019.docx

3. 応募〆切

2019 年 2 月 15 日 (金)

※奨励賞演題登録が認められる前に抄録登録は行わないようお願いいたします。

4. 発表形式

今後、ウェブサイトの大会ホームページにて詳細をご案内いたします。なお、前回大会においては、口頭発表（12 分）とポスター前での発表（7 分）を行っていただきました。

5. 受賞者の皆様へのお願い

受賞者は以下の学会活動へのご協力をお願いします。

- (1) 会員通信へ「受賞の感想」を寄稿する。

- (2) 受賞題名に関連する論文（原著、または総説）を本学会機関誌（Tissue Culture Research Communications）に投稿する。

6. 問い合わせおよび申請書送付先

中村 和昭（E-mail: nakamura-kz@ncchd.go.jp）

国立研究開発法人国立成育医療研究センター
研究所薬剤治療研究部

Young Investigator Award (YIA), Application and Presentation

1. Applicants must meet the following criteria

Be the member of "Japanese Tissue Culture Association".

Be equal to or less than 40-year-old on April 1, 2019.

Be the first author of presentation of title applied for Young Investigator Award.

Did not receive "Young Investigator Award of Japanese Tissue Culture Association" previously.

2. Presentation

The style of presentation will be announced in the "The 92th Annual Meeting Website".

For reference, the style of presentation in 2018 meeting was 12-min oral presentation and 7-min discussion on poster display.

3. Awardees are requested;

(1) to submit the comments of impression for getting the Young Investigator Award to News Letter of Japanese Tissue Culture Association soon after the Annual Meeting,

(2) to submit the paper (regular articles or review articles) to "Tissue Culture Research Communications" by the consistent title applied to Young Investigator Award after the Annual Meeting.

4. Application

Download the application form from JCTA website. Please fill the form and apply to the below address by e-mail. Please keep in mind that this form includes the testimonial written by councilor of Japanese Tissue Culture Association. After the acceptance and approval of application, you will be requested to submit the abstract through online registration in the Annual Meeting website.

Download the application form:

http://jtca.umin.jp/shourei/YIA-ApplicationForm_2019.docx

5. Deadline of application.

February 15, 2019

Please do NOT submit to online registration BEFORE the approval of application by YIA office.

6. Address.

Inquiry and an application form to

Kazuaki Nakamura, Ph.D.

Chief of Experimental Pharmacology

Department of Pharmacology

National Research Institute for Child Health and Development

E-mail: nakamura-kz@ncchd.go.jp

4. 第 92 回大会 English Presentation Award (EPA) 応募案内

会員の国際的発信能力の増進を奨励し、本学会の活性化を図るため、2014 年の幹事会で設置が承認され、2015 年の第 88 回大会(広島)から開始されました。選考規定に従いご応募ください。

●日本組織培養学会 English Presentation Award (EPA) 選考規定

第 1 条 名称: 日本組織培養学会 English Presentation Award (略称 EPA) と称する。

第 2 条 目的: 会員の国際的発信能力の増進を奨励し本学会の活性化を図る。

第 3 条 受賞対象: 本学会の会員であり、本学会大会の EPA 対象応募演題 (口頭発表) の筆頭学術発表者であって、要旨記述ならびに口頭発表を英語で行った者。尚、受賞者は再度応募出来ない。

第 4 条 発表期限: 当該年度の本学会大会で発表されたものに限る。

第 5 条 応募方法: 演題申込時に EPA 応募の旨を明記する。尚、応募の期限は演題申込締切日とし、応募演題は一人一題に限る。

第 6 条 選考: 大会長に一任する。

第 7 条 表彰: 本学会の総会時に発表し、賞状ならびに副賞を贈呈する。

第 8 条 改訂: 幹事会で行う。

附則: 本選考規定は平成 28 年度から実施する。

The criterion for English Presentation Award (EPA)

1. Nominal: English Presentation Award abbreviated as EPA of the Japanese Tissue Culture Association (JTCA).
2. Purpose: To encourage the JTCA members to present research achievement in English with the aim of transmitting JTCA activities internationally.
3. Candidate: Must be a member of JTCA and a first author of the oral presentation in the annual meeting of JTCA. Abstract should be written in English and presentation as well. Previous awardees are precluded.
4. Application: Specify the request of nomination at the time of abstract application. One application per each author.
5. Discretion: The relevant meeting president is responsible.
6. Commendation: Awardees are announced at the general meeting of the annual meeting and sent an award certificate and an extra prize.
7. Revision of the criteria: Executive members of JTCA are responsible. Supplement: This criteria is enforced at January, 2016

5. 委員会報告

1) 細胞培養基盤教育委員会報告

委員長 片岡 健

日頃より日本組織培養学会細胞培養基盤教育委員会の活動へのご理解・ご協力をいただき感謝しております。

今年度中の細胞培養基盤技術コースⅠは、新たな会場である「アズワン株式会社殿町ソリューションリサーチラボ（神奈川県川崎市）」で2019年3月に開催を予定しています。コースⅡについては今年度内の開催予定はありませんが、来年度は複数回の開催を目指して準備を進めています。さらにコースⅢは、例年通り京都大学 CiRA で2019年3月の開催を予定しています。

委員のメンバーを中心として細胞培養基盤技術コースで使用している「細胞培養実習テキスト」の改訂と、それに合わせて実習内容の見直しを進めています。次回大会の委員会主催の講習会では、これらの変更点を中心に説明する予定です。

今後とも会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

2) 情報企画委員会報告

委員長 森 一憲

当委員会では、学会ホームページやメーリングサービス等による情報提供について、維持管理を行い、学会内外の関係者に応用・活用してもらえるよう活動しています。昨年、峯 祐一会員を委員として加え、より充実した情報発信に努めてまいります。利便性向上のため、皆さまのご意見・ご要望などをお寄せいただければ幸いです。

会員通信 140 号においてご報告した J-stage オンライン投稿・査読システムの導入を計画していましたが、その利用要件の 1 つに年間投稿数が設けられており、現在これを満たせていないため、見送ることとなりました。学会資料を保管するための情報完全性が高いサーバー選考を、編集委員会と連携をとりながら、検討する予定です。

3) 編集委員会報告

委員長 浅香 勲

昨年は3報のご投稿をいただき、2報の論文を J-stage に掲載し、現在論文1報が掲載準備中です。

また J-stage 機能の有効利用に向けて検討を進めているところですが、一部の機能については投稿数等の基準が設定されており、現在の投稿数では基準に達しないため、代替案を検討し

ているところです。従来投稿原稿は編集委員長がメールで受け付け保管することになっておりますが、今後論文不正等の対応を考えた場合、投稿原稿等は学会で保管する必要があると思われるため、原稿受付ならびに保管について検討を進める予定です。

会員の皆様には、引き続き積極的なご投稿をお願い申し上げます。

4) テクニカルアーカイブ委員会報告

委員長 浅香 勲

テクニカルアーカイブ委員会では、現在本学会の沿革や大会開催歴、会則等の改正の経緯を明確にするため、学会ホームページに未掲載の会員通信の収集を行っております。これまで間中先生のご協力により、会員通信第1～57号のPDFファイルを入手できましたが、未入手の第58～89号につきましては第61号を除いて国会図書館に所蔵されていることが判明いたしました。しかしながらコピーの入手には費用が掛かるため、引き続き不明分については検索を続け、年度内に入手できない分については次年度に国会図書館からの入手の予算を計上して入手するつもりです。全号揃えたうえでホームページに掲載する予定ですので、不明の会員通信をお持ちの会員は執行部へご連絡いただけますようお願いいたします。

6. 会員登録住所更新のお願い

2019年1月

日本組織培養学会

会員の皆様

会員登録住所更新のお願い

平素より学会活動へのご理解ご支援を賜り、誠に有り難うございます。

さて、例年3月に翌年度の年会費請求書、ならびに払込用紙を郵送させていただいております。しかしながら、会員名簿の登録住所が更新されていないために返送される、請求書や会員通信、学会誌が近年増加しつつあります。会員通信や学会誌の送付、年会費を滞りなくお納めいただくために、住所変更された会員の皆様におかれましては、速やかに住所の更新手続きをお取りいただけますようお願いいたします。住所変更は、下記アドレスの担当窓口で受け付けております。

なお、既に会員通信第138号においてご報告させていただいておりますが、第90回大会総会において会則の改正が承認され、第7条の1において会費の納入が5年以上なされなかった場合、会員資格を喪失する条項が新たに加えられました。住所不明により年会費請求書がお手元に届かない場合であっても、5年以上会費が納められない場合には会員資格を喪失することになりますので、複数年会費の未納がある会員の方はくれぐれもご注意くださいようお願い申し上げます。

末筆ではありますが、会員の皆様のますますご発展ご活躍を祈念いたしております。

日本組織培養学会

会長 浅香 勲

登録情報の変更・更新手続き：<http://www.jtca.net/member/>

変更届送付先：jtca-office@umin.ac.jp